

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 福山鑄造株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3番2	
本票作成	部署名：生産管理部				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	鑄鉄鑄物製造業（鑄鉄管、可鍛鑄鉄を除く） 従業員約90人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市緑町3番2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 29 年度)	(令和 元)年度排出量	目標年度(令和 2 年度)
	9,928 t CO ₂	7,036 t CO ₂	9,630 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元)年度排出量
	①	笠岡工場	7,036 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 30 年度 ~ 令和 2 年度 (3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(元)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	4.3 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 溶解重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(元)年度	目標年度
		0.745	0.713	0.722
	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・当年度生産量がコロナ禍も影響し対基準年度比約26%と大幅に減少した。それに伴い電力使用量が22%減少したことでCO₂削減に至った。(CO₂発生量の内、電力割合は91.5%)
- ・生産量の減少に伴い、溶解炉の稼働率・効率の低下が見られたが、それらを向上すべく運用の見直し等による改善に取り組んだ。
- ・デマンド監視装置を新型に更新し、電力負荷の平準化・ピークカットなど、きめ細かな電力使用管理を行い、電力使用量の削減に努めた。

【推進体制】

- ・省エネルギー管理組織：代表者をトップに省エネ活動を全員参加で実施する。
 - ・省エネルギー委員会：エネルギー使用について、分析、検証を行い省エネを実施する。
 - ・不良品低減委員会設置：製造工程から見直し、不良品の低減に努める。
 - ・省エネルギーに関する専門家から、機会ごとに診断を受ける。
- 受診履歴 県地球温暖化対策室（H25年度）省エネルギーセンター（H25年度）中国電力（H25・29年度）

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	<p>(令和 元年年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変圧器、トッランナー器に更新 (CO2削減量9.6ton/年) ・工場・金型作成室の照明をLED型に更新 (CO2削減量2.6ton/年) ・乾燥炉の断熱補強、燃焼ノズルの高効率化 (CO2削減量11.5ton/年) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアーコンプレッサー75kwを運用改善の上、非常予備機として停止する (CO2削減量67ton/年) ・溶解炉冷却水ポンプ運転を全日52kwから夜間11kwに変更する (CO2削減量72ton/年) ・溶解炉立上げ3基中1基を年間20%停止する (CO2削減量91ton/年) ・未更新変圧器をトッランナー器に更新 (CO2削減量4.8ton/年) ・今後ともPDCA技法などを利用し、積極的に削減に取り組みたい。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

<p>継続事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の消費電力低減のため、クールビズ・ウオームビズ運動に取り組む。 ・社有車及び私有車に対し、アイドリングストップなどエコドライブ運動を啓蒙する。
--